

身近な郷土資料に触れよう



古田民子さんの「あさ子の記憶」の紙芝居を本人から語ってもらう参加者

地域の文化遺産に触れ、歴史を学んで地域への愛着をより深めよう
つと、第4回となる
「わが町文化遺産巡り」

が10月13日に開催されました。
この日は台風19号の影響が心配
され、参加者は25人と、昨年のほ
ぼ三分の一でしたが、小雨交じり

の天気の中、予定通り行なわれま
した。
今年は身近にある文化財を見て
歩こうと企画され、飛騨位山文化
交流館の民俗資料見学と山腰曠
ん宅での日本画鑑賞、新家直樹さ
ん宅での石器観察という行程で行
われました。
民俗資料の展示室では一之宮の
古代から現代までの歴史資料を見
ました。その後図書館で、古田民
子さんが作った昭和初期頃の一之
宮の暮らしを描いた紙芝居を古田
さん自身のお話で鑑賞し、当時は
振り返りながら懐かしんでいる参
加者もいました。
山腰さんの家では山腰さんの描
いた70点ほどの日本画や水墨画な
どを鑑賞しました。
「ゆうあいひろば」で高山線開
通を記念して植えられた桜を見た
後、新家さんの家では、そこで保
存されている一之宮最古の石器を
見て、縄文時代の集落の跡につい
て説明を受けました。
解散後は希望者で、「中」に寄っ
て昼食をとりました。

一之宮まち協だより

第6号

平成26年11月1日

一之宮町
まちづくり協議会
広報委員会

高山市一之宮町3087
電話 53-2424

宮景

コケ山

一之宮町には、市内でも珍しいコケ山があるのをご存知でしょうか。臥龍桜の北側にあるエリアの山林は、昔からマツタケを中心とするコケがたくさん生えるということで、毎年秋にはコケを採る権利が入札で決まります。

この入札の加減というのが難しいらしく、どれくらいのコケが取れそうかをいろいろな条件から判断し、損をしない程度に、しかもほかの人よりちょっとでも高く入札しないと、権利を得ることができません。コケを採るのが趣味の方は、昨年のコケの出具合や、今年の気象状況を考えて、今年はどれくらいとれそうかを予想して入札に臨まなければなりません。ダメだろうと安く入札したら豊作だったり、途中で気候条件が悪くなってほとんど取れなかったりと、自然相手なのでギャンブル的な要素も持っています。

マツタケを口にする自体あまりありませんが、山中を自分の足で探して歩き、もしマツタケを見つけたら・・・

その感動はきつととっても大きなものでしょう。そして自分で採ったマツタケは、それは美味しく薫り高いことでしょう。

皆さんも来年の秋口には、夢を買うつもりで入札に参加してみてくださいはいかがでしょうか。(広報委員：中島照雅)



今年のコケ山入札で入った山でのマツタケです。場所は値段も・・・秘密です。



木を切り倒す手ごたえを感じる子どもたち

**サタデイサークルが再開
ふるさと体験では間伐体験**
卓球を除いて、8・9月休講していたサタデイサークルが10月11日から再開しました。このうち「ふるさと探検」では間伐体験を行いました。
体験した山は、高山市が東京都千代田区とCO2の削減協定を結んでいる奥地内にある「千代田の森」で、一之宮林業グループの指導を受けて行いました。
参加した20人はグループの指導者から、間伐の説明を受けた後、間伐する木の選び方と伐採の方法について学びました。
慣れない手つきでのこぎりを使った子どもたちは、8本の松を順番に切り、木が倒れるたびに歓声を上げていました。その後、伐採した木は細かく切って子どもたちが持ち帰りました。

宮小学校4年生は、10月10日に総合学習の時間を使って車いす体験を行いました。
事前に9月には車いすを利用してみえる下呂市の北村祐次さんから話を聞いたほか、10月には体育館で社会福祉協議会一之宮支部の職員からの指導を受けて事前体験も行いました。
この日は社会福祉協議会一之宮支部から車いす6台を借りて、一之宮支所と位山交流館、それに公民館の3か所で体験しました。
子どもたちは実際に外で体験するのは初めてで、車いすに乗ること、普段の生活からは気が付かない、不向き、怖さ、人の気持ちなどたくさんの方に気が付いたようでした。
**アセアンの子達と交流
2泊3日のホームステイ**
国が行っているアセアン加盟国



トイレも車いす。苦勞を身をもって体験

**宮小4年生が車いす体験
普段気が付かないと学ぶ**

中学生招聘交流事業の一環として今年もインドネシアからの中学生男子3名・女子3名の計6名が、町内の中学生のいる家庭で暮らすホームステイ体験を行いました。
10月23日には宮中学校で宮中生徒との交流会が開かれ、宮小学校と宮保育園でも子どもたちとの交流が行われました。
今年のホームステイは、24日から26日の2泊3日で行われ、ツリークライミングや宮川の川原での芋焼きパーティーそして魚採りなど行って、日本の生活や自然に触れられました。
インドネシアの子どもたちとの会話には英語が使われ、ホームステイ先の親たちは苦労しましたが宮中の子どもたちが大変良く助けてくれました。
帰りの際のインドネシアの子どもたちの笑顔が印象的でした。
**親子でそば打ち体験
女性委員会が食育活動**
親子を対象にしたそばづくり体験が10月25日に公民館で行われま



川原で焼き芋を楽しむ子どもたち

宮小中学校音楽交流会が10月27日に宮中学校で行われました。宮小中が互いに連携しあい、音楽を通してお互いの良さを認め合い、次のなかになかつかみかず、出来上がったそばもまちまちでしたが、それでも自分たちで打ったそばは格別で、指導者にゆでてもらっておいしそうに試食していました。
**宮小中学校音楽交流会
演奏後感想も相互発表**



体育館に響き渡る小学生の合唱

参加したお母さん達はほとんどが初めてで、子どもたちと一緒に楽しみながらそば粉を混ぜ、こねて延ばして細く切るまでを体験しました。
参加したお母さん達はほとんどが初めてで、子どもたちと一緒に楽しみながらそば粉を混ぜ、こねて延ばして細く切るまでを体験しました。
そばを切る表情は真剣そのものでした



そばを切る表情は真剣そのものでした

学年へのステップのヒントを見つけてさせることが目的。
小学校3年生と4年生は合同で「イズニーソング」などの曲を合唱と楽器で演奏し、中学生は3年生と全校生徒が合唱を披露しました。宮保育園の園児や保護者などの地域の人も会場を訪れ、宮中学校体育館に響く元気な歌声を聴いていました。
交流会では、それぞれの曲を聞いた後で、感じたことを発表し合う感想交流も行われました。
小学校3・4年生は10月30日に高山市文化会館で開かれた「高山市小学校音楽会」に参加しました。また中学校の全学年の生徒は、11月7日に同じ会場で「高山市中学校音楽会」に参加します。
お聞きになりたい方は、中学校にお問い合わせ下さい